

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 市町村合併問題県外視察報告

4.5

- 2 **トピックス** 第3回理事会・第2回評議員会開催
- 3 **視点** 自然の中での世代間の交流
- 3 **ひろば** いつでも、どこでもでき、お金も掛からない公民館活動
- 6 **実践記録シリーズ** 刈羽村通学合宿
- 7 **サークル交流** やまとどんぐり(糸魚川市公民館) / 津川町石宝会(津川町公民館)
- 7 **素顔拝見** 田辺文敏さん(柏崎市) / 安藤儀和さん(羽茂町)



「おはなしのじかん
in 京ヶ瀬小学校」
京ヶ瀬村

第3回理事会・第2回評議員会開催

16年度基本方針事業概要決定 市町村合併と財政確立への対応

去る2月24日(火)の午前

新潟市中央公民館で第3回理事

民館大会開催案等について協

議され、また午後は、同会場

で第2回評議員会(出席22人

委員13人)が開催され、理事

会で整理された案について協

議し、ほぼ原案どおり承認さ

れた。なお、懸案となっていた北方

領土返還要求運動新潟県民会

議から引退会についても、原案

どおり全会一致で承認された。

一、新年度の基本方針・重点

平成16年度基本方針

市町村合併特例法の期限も間近に迫った今年度は、県内の市町村合併や、地方交付税の減少に伴う行財政改革の流れは、急速に進みつつあります。

また、地方自治法の改正に係る「指定管理者制度」の導入等により、公民館等社会教育施設の民間委託の動きも出て来ております。

このような厳しい時代の転換期にあたって、公民館の役割・存在意義が大きく問われている今日、私ども新潟県公民館連合会でも、これらの諸問題を直近の重要課題としてとらえ、対応せざるを得ない状況にあります。

そこで、今年度は、公民館が生涯学習推進の中核施設として、また、まちづくり、地域づくり、人づくりの拠点として今後も存続できるよう、各行政機関・組織・地域住民の理解・連携協力を得ながら、次の五点を重点施策として取り組む所存であります。

- (1) 関係上部組織とのより一層の連携・強化
- (2) 職員の資質向上を図る研修事業の実施
- (3) 情報提供事業の充実・拡大
- (4) 事業の自己評価
- (5) 県公連の体質の強化(自主財源確立の努力)
- (6) 市町村合併問題への対応

目標・事業計画

概要案について

基本方針は上掲のとおりであるが、大詰めに

入って来た市町村合併問題については、合併問題調査検討委員

会を中心に、最優先に取り組み

むこととなった。また、地方交付税減少等に伴



① 山梨県富士河口湖町

委員 佐藤 貞夫

② 静岡県修善寺町

(4・1以降伊豆市)

副委員長 秋山千恵子

なお、総合的な報告は、

4・5面特集欄に、雲尾周委員が紙面報告しているの

で、参照いただきたい。

四、公民館総合補償制度に

ついて

エコー保険サービス柳代

表取締役 高橋壮治様から、

具体的な事例にそって説明

がなされた。

う歳入減の問題については、財政確立調査検討委員会を早急に立ち上げ、対応していくこととなった。

二、第55回新潟県公民館大会

開催について

大会開催地長岡市から提案され、ほぼ原案どおり了承された。

三、市町村合併問題第2回研

修について

休憩後、2月9日(月)

10日(火)市町村合併先進地

視察を終えた2人の委員から

それぞれ報告がなされた。



文部科学省、副大臣室で

視点

自然の中での世代間の交流

上越市公民館
運営審議会委員 古澤 和子



緑美しい森は、私達の心を癒してくれる。子どもの頃親しんだ自然は、原風景として一生の宝である。

秋の一日、地域づくり講座に招かれ、子どもも大人も一緒に身近な森を歩いた。大区画の田んぼの真ん中で、ここだけはハンノキやエノキの大樹が繁る貴重な森である。子どもが「これは大事な植物だから踏まないで！」とアケボノシユスランの群落をよけて通るよう呼びかけたり、「この木は何歳くらいかな？」とミズキの樹齢を考えたりして、

目を輝かせている。大人も「ここへ来たのは何十年振りかな」と目を細めている。人は自然に触れる中で自然を慈しむ心が育つ。そして、大人も子どもも一緒に活動する中で、世代間の交流が進み、「自然に親しみ、自然を守る」という価値が共有できる。それは、地域を愛し、明るい地域作りを進める活動となる。

みどり豊かな自然や街、前向きで和やかな仲間作り、それらは活動への積極的な参加から始まり、その仕掛けづくりが大切と思う。

H O T N E W S

掲 示 板

第2回 関東甲信越静公民館
連絡協議会理事会の開催

1. 日時 平成16年2月20日(金)
11時50分～15時30分
2. 場所 国立市公民館会議室
住所：国立市中1-15-3
TEL：042-572-5141
3. 議題
 - (1) 第44回関東甲信越静公民館研究大会の決算等について
 - (2) 平成15年度関ブロ公連の事業及び収支決算について
 - (3) 第45回関東甲信越静公民館研究大会について
 - ・開催要項(案)
 - ・分科会担当県の調整等について
 - ・その他
 - (4) 第27回全国公民館研究集会の役割分担について
 - (5) 平成16年度役員(持ち回り)について
 - (6) 平成16年度関ブロ公連理事会日程について
 - (7) その他



ひろば

いつでも、どこでもでき、お金も掛からない公民館活動

清里村社会教育委員 池田 威夫

正しい言葉遣い、キチンとした挨拶、呼ばれたら返事をする、背筋を伸ばす、靴を脱いだら揃える。

公民館活動で、こんなことができるようにしたい。

有名なタレントでも、話すときに、語尾あがりの言葉遣いや、自分の両親に、おをつけて話すのを聞くと、ガツカリする。此の間、中学生が、私の父がと言っているのを聞いて、この中学生は、しっかりしているなあと感じた。

「ジイ、ジイ、返事は一回。」

いつも、私が孫に言っている、「ハイ！、返事は一回」というのを逆に一本取られたのである。

人と人との関係を円滑にする挨拶、返事、言葉遣いなどは、公民館活動にたずさわる者が心掛け、行ない、そして広げる。

このような活動は、いつでも、どこでもでき、しかもお金も掛からないと思うのだが、説得力に欠けるかなあ。





う項目も多い。

公民館については、旧河口湖町の中央公民館が新町の中央公民館となり、4地区公民館、15分館、9自治公民館は維持された。旧足和田村では中央公民館が新町の地区館となり、2地区館が分館となった（旧勝山村は合併直前に公民館を廃止）。新町でこれらの地区館、分館、自治公民館のいずれでも事業を行ってほしいために予算（管理運営交付金）をつけていることは特筆される（旧河口湖町の制度を維持）。

3. 民間会社への検討事項選定委託と

1年早まった合併の狭間で～修善寺町

伊豆半島の中程に誕生する伊豆市は、総面積の8割以上を天城山系の森林が占め、西側で海に接している。合併する4町の位置関係と大きさは、北部2割が修善寺町、東部3割が中伊豆町、中央・南部の4割弱が天城湯ヶ島町、駿河湾に面した西部に土肥町である。人口構成比（平成12年国勢調査）は、修善寺町43.62%、土肥町14.20%、天城湯ヶ島町20.63%、中伊豆町21.55%の合計38,581人で、本年4月1日より伊豆市となる。

修善寺町での聞き取りは、修善寺町の中央公民館である「生きいきプラザ」（図書館・保健福祉センター・生涯学習センター）で行われた。隣接する修善寺町役場が築30年を経て手狭であるのに対し、築数年の建物は明るく広々としていた（修善寺町役場は市役所庁舎となるが全行政機構は入りきらず、他3町役場を支所とする分散方式をとる。教育委員会は土木部とともに中伊豆支所に置かれる。平成18年庁舎建替え予定であり、その際に再配置が行われる）。

合併協議会においては、事務事業一元化調査項目等の選定を民間会社のコンサルタントに頼った。しかし現場へのヒアリングが欠けていたため、細部が落ちてしまった。全国共通の項目だけでは調整できず、地域の実情に合わせて職員が作るべきという反省が残ったそうである。合併協議会事務局に社会教育経験者がいなかったことも不運だった。また、条例案等の作成は専門性を求められるので民間会社に委託したこと自体はよいものの、時期が遅くて検討に影響した。



時間的な制約を格段に高めたのが合併枠組みの変更である。当初は、修善寺町の北に接する町も含めて平成17年4月1日合併予定であったのだが、この町が他との合併に移ってしまったので1年合併が早まったそうである。

公民館についてはそのまま継承される。旧4町それぞれに生涯学習センターを置き、正規職員を配置して公民館業務も行うこととなる（条例としては公民館が置かれる）。現在の修善寺町中央公民館、中伊豆町中央公民館、土肥町公民館は、新市誕生時にすべて「町」とった名称に変わる。天城湯ヶ島町には公民館がないので、農村環境改善センターを天城生涯学習センターにする予定である。

4. これからに向けて

今回の調査では比較的人口規模が小さく、合併自治体数も少ない事例をみてきたわけだが、それでもたくさんの調整事項があり、すべてを短期間に統一することには困難が伴う。公民館や社会教育の立場からは関係なく合併の枠組みが途中で変わっていることも、それに拍車をかけた。

本調査からの示唆のいくつかはすでに記したが、他にも多々あった。それぞれの地域のよさを生かすこと。なるべく広く構えること（事業や部署を削るのはいつでもできるので、最大公約数ではなく、最小公倍数的発想が必要か）。関係団体についてはその自主性に任せた準備会。旧組織の寄せ集めではなく新組織として責任をもって行うこと。合併する市町村が多数になっても、大規模自治体への編入合併の場合であっても、これらのことが有効であるかどうかは定かでない。しかし、大切にしたい視点であることは間違いない。

途中ふれなかったが、専門職制については、いずれも庁内に社会教育主事有資格者（社会教育担当時に取得）が多いという伝統を有していた。これがどうなるか。富士河口湖町の新任社会教育係長は今夏の社会教育主事講習受講予定、伊豆市は市費負担で社会教育主事の派遣を受ける予定ではある。

市町村合併問題 県外視察報告

特集

小規模合併だからいえるのか

委員 雲尾 周



1. はじめに

新潟県公民館連合会では、新潟県内でも進む市町村合併に際して、公民館がどのような変革を迫られているか問題点を検討して合併後の公民館体制維持・発展に資するため、市町村合併問題調査検討委員会を平成15年6月に設置して、情報交換や審議を進めてきた。そして本年2月9日に、すでに合併を終えた山梨県の富士河口湖町（平成15年11月15日設置）、同10日に静岡県の修善寺町（平成16年4月1日合併予定）への調査団派遣となった。団長（と当日は呼んでいなかったが）は秋山・上越市立公民館長（県公連副会長）、副団長は佐藤・小須戸町中央公民館長、事務局として鈴木・県公連事務局長。これだけでは団員がいないので、平団員として雲尾が加わった4人の一行であった。



この旅行で個人的に思い出に残ったのは、河口湖から宿泊地の静岡県三島市までのバス移動であった。山中湖畔から峠を越えて、御殿場で乗換え三島までという合計約2時間、標高差約1000mをひたすら下るといふ楽しい経験であった。三島から修善寺までの伊豆箱根鉄道は高校生の通学時に乗り合わせ……と書き始めるときりがないので、調査報告に移ろう。

2. 「教育を語る会」での交流実績～富士河口湖町

河口湖町、勝山村、足和田村の3町村の合併で誕生した富士河口湖町での聞き取りは、まるで美術館のような外観の新しい町役場で行われた。この新庁舎は合併とは関わりなく建てられたもので、老朽化した河口湖町役場の建替え計画がたまたま新町に合致したとのことである。人口構成比（平成16年1月現在）は旧河口湖町82.4%、旧勝山村11.0%、旧足和田村6.7%の合計2万3756人であり、旧河口湖町が新町の中心となることは客観的に納得のいくところである（東西に並んだ3町村の中では東端であるが）。

さて、本項の標題にある「教育を語る会」とは、この3町村に上九一色村（旧足和田村のさらに西）を含めた4町村で以前から開催されていたもので、聞き取り調査冒頭の宮下教育長の歓迎の言葉の中でご紹介いただいた（上九一色村は他の合併候補や分離合併等の意見も浮上して、今回の合併では中途離脱となった。後年の合併も期待されるが、そうすると富士五湖のうち山中湖を除く四湖を有する町になる）。また、「100km踏破」（小学校5・6年生が、3泊4日で学校などに泊まりながら富士山に行く）という社会教育事業も共同で行われていたとのことである。こうしたことで普段からの関係がよくつくられていたことが、合併に際して円滑に作用した。

とはいえすべての事業がそうというわけではない。各町村で活動状況には濃淡があった。一般的に旧河口湖町では活発で、財政的支援も他村より手厚かったのも、全体をそのレベルに引き上げることが目指されている。すぐにすべてを旧河口湖町の制度に統一するというのではなく、とりあえず現状維持（合併後調整、合併後再編等）とい

実践記録 シリーズ 72

「刈羽村通学合宿」

～自立心と基本的生活習慣の確立をめざして～

刈羽村教育委員会 生涯学習課 主事 鈴木美貴子
派遣社会教育主事 佐藤 義朗



「ラピカ」から、「行ってきま～す。」



栄養士、食生活改善推進委員の方々から食事のとり方や作り方について教えてもらいました。



毎日1時間の学習時間「こんなに、勉強したのは初めてだ」という声も聞かれました。

1 はじめに

9月17日(水)～9月19日(金)、「刈羽村通学合宿」が生涯学習センター「ラピカ」において、刈羽小学校6年生の希望者24名を対象に、

- 1、家庭から離れて日常生活(学校生活を含む)を営むことにより、自立心を養うとともに基本的生活習慣を身に付ける。
- 2、さまざまな体験(学習、食事の準備、後片づけ、清掃等)や遊びを含む同世代との集団生活を経験することにより、協力・協調の精神を養うとともに、相手を思いやり尊重する心を育む。ことを目標としておこなわれました。

2 通学合宿をとおして

参加児童は、3日間「8つのルール」について自分でチェックしながら生活しました。この合宿中はテレビを見ることやゲームもできません。食事の仕度や片づけ、布団の上げ下げ、1時間の学習等自分を律して取り組みました。また、1ヶ月後に、参加した子どもとその保護者にアンケートを実施し、事後調査をおこないました。

中学校入学を目前にした児童は、友だちからも刺激を受け、自分の生活を見直す機会としてよい経験になったことと思います。

3 参加児童の作文より

3日間で成長したこと
刈羽小学校 6年 Y. T
ほくが、この3日間で成長したことがいくつかあります。

1つ目は、ふとんをたたむことです。ふだんはたたまないでそのまま行くけれど、ちゃんとふとんをたたむことができました。

2つ目は、あいさつです。家から登校するときなどにあいさつすることが少なかったけれど、3日間はりきっていたので習慣になってしまいました。

3つ目は、協力することです。食事の時も人と力を合わせて作ると、とってもおいしいごはんができました。この協力を、学校や中学校でも生かしたいと思います。

4つ目は、宿題です。6年生は、1時間と勉強時間が決まっているのに、家では40分でやめたりしていました。でも、1時間きっちり勉強してつらさがよくわかったし、たくさんすれば頭もよくなると思いました。

このようなことをほくは、3日間で前より理解することができました。通学合宿が終わったのでやめるのではなく、家に帰っても良いところを生かし成長したことを身につけたいです。

4 参加児童保護者の感想より(抜粋)

- ・親元を離れて、自分のことは自分でしなければならぬ生活は非常に有意義だったと思う。2泊3日という期間も適当。他の人から刺激を受けるよいチャンスでした。プログラムは少しきついかないと思いましたが、時にはこういうきちんとした規制の中で過ごすのも良いと思います。
- ・通学合宿はたいへんだったようですが、自分の目標はおおむね達成できたと思います。しかし、家庭に帰り日が経つにつれて普段通りになっていったが、本人が意識すればできることがわかり、今後家庭で取り組んでいきたいと思っています。子どもにとってよい経験だったと思います。

5 おわりに

通学合宿の期間、プログラム、学校や保護者、他部局との連携等今後検討し、有意義な「刈羽村通学合宿」を目指していきたいと思っています。

刈羽村通学合宿8つのルール

氏名

※チェックしてみよう 4点…達成 3点…ほぼ達成 2点…もう少し努力が必要 1点…もっと努力が必要

No	チェック項目	17日	18日	19日	総合	1ヶ月後
1	大きな声であいさつしよう。「おはようございます」「いただきます」「ごんには」「たがいま」「おやすみなさい」					
2	目と耳と心で、話や説明を聞こう。					
3	履き物をきちんとそろえよう。					
4	学習時間は集中してとりこもう。					
5	自分の服や寝具は、きちんとたたもう。					
6	進んで、身の回りの整理整頓、掃除をしよう。					
7	食事の時は、行儀よく食べ、後片づけをしよう。					
8	寝る時間や起きる時間を守ろう。					

日 程

①通学合宿参加児童と保護者説明会(刈羽村農村環境改善センター) 9月10日(水) ②通学合宿

1日目 9/17(水)

時 刻	17:30	18:00	21:00	22:00
活動内容	学 校	受付	開会式・オリエンテーション・夕食準備・夕食・後片づけ	学習(シャワー)翌日の準備

夕食のメニュー…カレーライス、サラダ、牛乳、果物(梨) 麦茶

2日目 9/18(木)

※お楽しみプログラム…ストーンベーパーウエイト作り

時 刻	6:30	7:40	17:30	19:30	20:30	22:00
活動内容	起床 朝食 登校準備	学 校	夕食準備・夕食 (後片づけ・シャワー)	お楽しみ プログラム	学習・翌日の準備	就寝

朝食のメニュー…ごはん、みそ汁、焼き海苔、鮭の塩焼き、ほうれん草のおひたし
夕食のメニュー…ごはん、焼き肉、生野菜、のっぺい、きのこスープ、麦茶

3日目 9/19(金)

時 刻	6:30	7:40	16:30	18:30
活動内容	起床 朝食 登校準備	学 校	ふりかえり 閉会式	解散

朝食のメニュー
ごはん、みそ汁、ハムエッグ、ゆで野菜、みかん、浅漬け

トランポピクスで、いきいき健康づくり
糸魚川市 やまとどんぐり

大和川地区公民館の募集で、初めてトランポピクスを経験し、ずっと続けたいね”で生まれた、芽が出たばかりのトランポピクスサークルです。火曜日ごとの集まりはとても楽しくて、公民館への足も速まります。また、月一回の先生の指導も待ちきれないほどです。

会員は21名とまだ少人数ですが、和気あいあいと楽しい汗を流しています。トランポピクスは、まず十



分な準備運動から始め、自分の体調を考えて無理のないように、また水分も補給しながらリズムに乗って踏みまます。

ゲームを織り込みながら踏むので、遊び心も満足、そして終わった後はジワッと汗が出る。その爽快感は格別です。その時の皆さんはとってもいい顔！

やまとどんぐり
代表 長野 幸恵 (記)



謡曲を生涯の友として
心と体を鍛える
津川町石宝会

公民館がお寺の庫裡にあった謡曲講座が開講され、今年で53年間も続いています。習い始めた頃は、本を音読するようになってきました。三年



位までは無我夢中で、その頃ようやく歌浪曲の段階となりました。とにかく根気強く取り組み、十年位になりましたら少し謡らしくなったような気がしました。ふり返ってみますと、素晴らしい健康法ではなかったかと喜んでいます。

腹の底から大きな声を出しストレスが発散できました。会員30名がグループ毎に稽古に励んでいます。年4回公民館で発表会を開き、明日に向かって精進を重ねています。

津川町石宝会
会員 五十嵐廣志 (記)

安藤さんは、公民館に配属されて2年が過ぎようとしています。若い彼は、初めての職場にも戸惑いも見せず、与えられた仕事は、素早くこなしていきます。彼は、主に青少年を対象にした講座や町内の地域公民館を担当しています。また、平成14年度から始まった学校週5日制対応事業「わんぱくキッズクラブ」の企画運営にもがんばっています。



羽茂町公民館
主査 安藤儀和さん

15年度には、佐渡地区公民館連絡協議会の事務局も担当する中で、町のさまざまな公民館事業をこなす一方、プールや体育館などの社会体育施設の管理も任せられ、多忙な毎日を送ってきました。

3月には、新しく佐渡市が誕生しましたが、地域に開かれた公民館づくりを目指して、彼の活躍に期待します。

(羽茂町教育委員会 生涯学習課 小橋 徹麿 記)

昨年4月に配属になりました田辺文敏といます。柏崎公民館は3K。「きれい」「快適」「きつい」職場です。冷暖房完備で快適な日々を過ごさせてもらっています。公民館では、地区館事業の助言、館長会議、地区公民館経理、中越地区社会教育主事会を担当しています。



柏崎公民館
主査 田辺文敏さん

趣味は、ビールを飲むこと、日本酒を飲むこと、ワインを飲

むこと、焼酎を飲むこととランニングです！昨年の河口湖マラソンは、4時間チョイで完走しました。職場の女性には負けられないと、特訓を積んでの完走です。

夢はたばこを止め、サブスリーになるという夢を見ることです。(サブスリー……3時間以内で走るランナー)

(柏崎公民館 内山 正和 記)

素顔
拝見

平成6年、見附市の新企画「生涯学習ボランティア養成講座」修了者たちが、平成7年に結成した自主組織がこの実生の会です。

平成9年修了の第2期生を交え、実生のエネルギーに学び、活動する会、それが「生涯学習プランナー実生の会」です。

内容は、○歩みと活動・広報 ○運営組織と会員名簿 ○規約 ○生涯学習ボランティア



ア養成講座の企画 ○「実生の会」の企画講座 ○研修・協賛、参画関係、見附市生涯学習フェスティバルへの参画 ○見附市の生涯学習推進構想

○「実生の会」いきいき活動写真集等で構成されております。

平成11年9月、見附市公民館50周年記念大会の折、「子育て劇をつくってみよう」、パネルディスカッション「市民の新たな学習創造にかかわる公民館の役割と可能性」等で、直にその活動に触れる機会を得ました。今後、ますますのご活躍を祈念しております。

資料紹介

実生の会

2003年見附市生涯学習プランナー

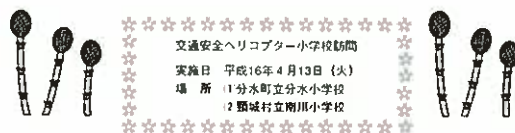
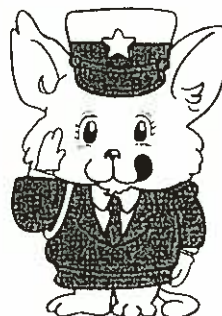
Net work ネットワーク

平成16年

春の全国交通安全運動

新潟県実施要綱
4月6日(火)～4月15日(木)

未来へとどけ！願いのかけはし 交通安全



交通安全ヘリコプター小学校訪問
実施日 平成16年4月13日(火)
場所 1 分水町立分水小学校
2 頸城村立南川小学校

新潟県・新潟県交通安全対策連絡協議会

event information

平成16年3月の
催物ご案内

春の特別展

「地球環境展 青い惑星・地球」

3月20日(土・祝)
4月4日(日)

内容

今私たちの周りでは様々な環境の変化が起っています。「地球温暖化」、「酸性雨」、「水質環境」、「有害廃棄物・リサイクル」といった環境問題について、その発生メカニズムや地球環境に及ぼす影響、対策などを紹介・解説します。

地球環境の問題は、すぐに解決できるものではありません。一人ひとりの取り組みが何よりも大切です。かけがえのない地球を守っていくには、どうすればよいのでしょうか？

主な展示

- ・新潟市内の小・中学校の環境に関する活動(ビオトープづくり、清掃活動、環境調査など)を紹介します。
- ・実験ワークショップ…「水質検査」、「酸性雨検査」、「廃油をリサイクル」などの実験を行い、環境について考えます。
- ・工作教室…ペットボトルなどの廃品を使って、工作を行います。
- ・パネルコーナー…「地球温暖化」、「温暖化の影響」、「水資源の影響」、「私にできることは何か」など環境に関する解説パネルをとおして、環境の変化についてわかりやすく紹介します。



あ と が き

プロ公連理事會も終了、東京公連主管の下、8月の大会に向け具体的な歩を進めようとしております。

県公連理事・評議員会では16年度の方向づけがなされました。

が、内外共に厳しい敗政事情のため大幅な歳入減となりそうです。

せめても、新潟県公民館月報の個人購読の拡大を図らねばならないようです。

三月末、合併に伴う人事異動も予想されます。(鈴木 記)

表紙解説 「おはなしのじかん」(京ヶ瀬小学校) 村立図書館の職員やボランティアによる月2回のおはなしのじかん。毎回たくさんのおもちゃが集まってくれます。

発行所 **新潟県公民館連合会** 発行人/会長 今井昭友 編集人/事務局長 鈴木友夫 Eメール/ni-koren@juno.ocn.ne.jp
〒951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 TEL・FAX (025) 224-6073
印刷/第一印刷所 〒950-8724 新潟市和合町2-4-18 TEL (025) 285-7161 FAX (025) 282-1776 【定価1部150円 年共1,800円】